

つくる会ニュース

Vol. 2

これまで18回の熱～い会議をしてきました!

わたしたち「自治基本条例をつくる会」の委員23人は、昨年4月から毎月2回(第2,4水曜日の夜)、市民参加による市民本位のまちづくりのため、条例の素案作りに向けて会議をしています。メンバーは男女、年齢、職業ともにバラエティーに富んでいます。

この会ではこれまでの「行政主導」とは違って、「みんなで勉強して、みんなで意見を出し合い、いろいろな方法を取り入れながら」進めています。そのために脱線することもあります。それも「産みの苦しみ?」ということで、「まちのルールづくり」に向けて、ワイワイがやがや・・・熱い議論を交わしています。その内容は裏面をご覧ください。

会議の主な内容

- ・自治基本条例についての研修
- ・他市の条例について比較
- ・総務文教委員会の視察報告
- ・今後のスケジュールについて
- ・市民への広報について
- ・山陽小野田まつりでの市民アンケートについて
- ・山陽小野田市の抱える問題点「行政」「議会」「市民」に分けて

自治基本条例ってなあに?

市民・議会・行政がよきパートナーとなって知恵を出し合い、創意工夫しながらまちづくりを進めるために、それぞれの役割と責任を明確にした**基本的なルール**です。

また、市政運営の最高規範となるもので、**まちの憲法**ともよばれます。

会員からひとこと

つくる会の活動を始めて約10ヶ月になりますが、このような活動は初めてで、最初は不安でいっぱいでした。しかし、皆さんのふるさとの対する熱い想いに引っ張られ、今では楽しく活動しています。

いろいろな人との出会い、そして話し合い、これは日常生活では得ることが出来ない、貴重な財産だと思います。



こんなことやっています

わたしたちのまちの問題点をあげました！

条例を作るためには、まずわたしたちのまちにどんな問題があるのか、それを知る必要があるのではないのでしょうか。そのために、みんなでまちの問題点を出し合うことにしました。

☆市民まつりで市民の声を聞きました

10月に行われた山陽小野田市民まつりに参加して、自治基本条例のコーナーを作ったり、チラシを配るなど、市民へのアピールをしました。そして、「ひとことください」とみなさんに呼びかけ、まちに言いたいことを書いてもらい、ボードに貼りました。ボードには予想を超える200枚もの市民の声が集まりました。それを持ち帰って、集約しました。

☆「行政」「議会」「市民」班に分かれて話し合いました

メンバーや市民まつりで出た問題点を分類したり、まとめていくために「行政」「議会」「市民」の3つのグループに分かれて検討しています。

それぞれのグループで出てきた問題点の一部を紹介します。

議会

- ☆ 財政に対する認識が甘い
- ☆ 議会改革に消極的
- ☆ 市民の代表であるという意識が薄い
- ☆ 市民への説明責任を果たしていない
- ☆ 市民の声が議会に反映されていない
- ☆ 視察が具体的に活用されていない
- ☆ 議員が多すぎる

行政

- ☆ 改革に消極的である
- ☆ 情報公開が十分でない
- ☆ 仕事にスピード感がない
- ☆ 市民全体の奉仕者という意識が薄い
- ☆ 財政に対する危機感が足りない
- ☆ 事業結果を検証しない
- ☆ 組織内の横の連携が弱い

市民

- ☆ 市政に無関心な人が多い
- ☆ マナー・モラルが低い
- ☆ 要求ばかりする市民がいる
- ☆ ボランティアの意識が薄い
- ☆ 市政に対する参画意識が薄い
- ☆ 地域エゴが強い
- ☆ 議会活動に関心が薄い

みなさんのご意見を聞かせてください！

ご意見はこちらまで・・・

- ★ 市行政改革課 TEL 82-1135, FAX 83-2604
E-mail gyokaku@city.sanyo-onoda.lg.jp
- ★ 最寄りの支所または公民館の提言箱

